（輝總局認可）　（日曜日休刊）　（定價金二錢）

時事新報

第千五百二十二號　土曜日
明治二十年二月廿六日
舊丁亥二月四日（壬戌）
日出午前六時三十六分　月入午後五時二十一分
月出午前八時二十八分　月入午後八時四十八分
滿潮午後七時五十二分　干潮午後八時零八分
（西暦一千八百八十七年）

時事新報

左の一編は福澤先生の令息一太郎氏が目下米國紐育州のポーキプシーにて文學修業中その作文の課業に綴りたりとて送付せし英文を本社にて翻譯せさるものなり

日本商人の品位

福澤一太郎

米國に來りその人民の有樣を見て先づ感服に堪へざるは商人に品位あるの一事にてその客に對する挨拶振あるにても日本の商人とは大なる差違あるとあり客を丁寧に取扱ふ一段に至ては兩國何れも違ひあき事なれども日本の商家にては客人に茶を進め番頭小僧打寄りて世辭タラ〳〵入らぬ追從敬白を述べ立つる其有樣は大名と家臣との挨拶もかくあるべしと思はるゝ程なるが米國にては客人の店先きに入り來るときは先づ單簡にGood morningある愛嬌の一語を呈し扱取敢へず如何ある御用にて候や（What can I do for you?）と問ひ掛ることあり本國にて世辭タラ〳〵の追從を聞馴たる日本人の耳には如何にも不愛嬌の樣に聞もれども此邊ゞ即ち米國と日本との相違にして米の社會には所謂時間を金の精神十分に貫徹するの證を見る可し元來日本にては社會の德義として金錢を不潔の物とあしざまに之を觸るゝときは穢れたりとて手を洗ひ之を貯ふるものは銅臭ありとて忌み嫌ふあと兎角に金錢を卑むの風盛んなるに以て平生絶へず金錢の取扱ひを業にする商人風情の者共は社會の最も下等なる人種として卑下せらるることなり然るに米國にては之と反對にて金錢は人の勸勉の所產にして人物の價値はその所有する金錢の多少に依て定まることとして日本などにて火災に燒失せらるる家屋家具等の損失を算するに何萬圓何千圓の損亡などいふ如く米國にては如何なる事物にても金錢の價を以て言顯とするの風習なり此有樣より見るときは日本にて商人と客人との間に非常なる懸隔ありて政府の官吏が大風なる顏色しく商人を眦り付くれば商人は何つも平々としてその足下に平伏するなどは隨分譯の分らぬ次第なりと申べし

還元日本にては政治上の平等を得んとて茅書に新聞に演說に世上の議論頗る喧しかりしとあるが我輩は所見にては政治上の平等も固より大切の事ならんが社會上の平等を得ることこそ今一層大切の事ならんと存ずるなり即ち今の日本商人の地位を社會の上流に進め今後日本國をして商賣を勵ま且つ之を貴重せるの國柄となすまと國の務めに於て最も大切なる事あらんと信ずるなり扨日本商人の地位を進るに方法如何と云ふに先づ今の商人に經濟學の大意を心得さするを以て第一となすべし我輩は茲に記す經濟學の大意とは商人が實地の經驗より自得せさる經濟上の知見を云ふにあらずして各自經濟學の書を讀み又は人の講義を聽聞などして得る所の學問を云ふものなり世に所謂實際家と稱する人々は既に書物上の知見は實地に寸效あきものなりとの言は毎度我々の聞く所にして實際家得意の論鋒あるが成程プラトー氏の理學か若しくは老子の性理學等の如きものを商人に研究せしめよとあらば其心智を錬磨するの功能は兎も角も商人の營業上に取て目前の利益なきは勿論の事ならんなれども經濟學は大に是等の諸學と異にして彼のアダム スミス、ジョン スチュワード ミル、ヘンリー ピー ケリー等諸氏の說の如き現に社會人事の實際に應用して其主義に誤あき事は世論の既に許を所なり今も之日本の實際家に問ふに古來日本の孤嶋中に棲息せさる故老輩の自認せさる實地經濟の主義と世界の有名なる經濟學の講大家が唱へたる說にして而も世界は公論に於てこれ眞實なりとを許したる經濟の主義と孰れの方ゑ誤謬少あきやの疑問を以てしたらば如何、流石の實際家も彼を是と之を非とするとは能はざるべし若し或は實際家ゑして猶ほ學理を實地に應用せるとに異議あらば茲に君等の熟知する手近なる一例あり近來日本にて西洋の簿記法を用ゐてより商家は帳合法に非常の改良を加へたるに世人の知る所ゑ之て今日ゑ至りて一離れか亦彼の日記帳も試算表も備はらざる雜駁なる舊式は大福帳に變ずることを好むものゑらんや然るにゑの簿記の定式とても其初めゑ於て實際家は之を悅ばず單に書物上の理論ありとして排斥したるにあらずや其他鐵道あり電信あり郵便あり何れも書物上の理論と實際ゑ應用したるものにて日本の故老輩の所謂實際上より發明せたるものにあらざるなり左れば學理を講ぜて之を實地ゑ應用せるの利益たるや明々白々なれ次第にして近代著しき進歩をおしたる日本の開化も遠くその源に溯れば之とワット、フルトン、ガルヴァニ、ステヘンソン等諸人が勉强耐忍の功績に歸せざるを得ず、保護貿易自由貿易の問題は何を根據として之と論ずるや、國會憲法の議論も西洋傳來の說を應用したるものにあらずや日本國人殊ゑ日本は商人たるものゑ不文粗野なる實地論のみゑ偏せずして西洋學問に心掛肝要なりと云ふべし

第二に日本は商人は宜しく營業の實義を養成すべし抑も營業實義とは全く一身は實義とは異にして一身の實義は重ゑ家庭の教育に依て養いるゝものにて營業の實義は全く社會は機關に依て陶成さるゝものなり左所謂社會の機關とは即ち商賣の意味にて商賣益々活潑なれば營業の實義も亦隨て愈々發達するものゑて現ゑ驚くべき遺例と申すは日本にては品物取引の間に手附金を要すること平常の事ゑれども米國にては手附金を要するゑと殆んと稀なりと云へり然れども營業の實義は元來生得のものゑあらずして寧ろ習得に屬するものなれば此日米間の優劣を以て東西人種の差異ゑ歸すべかゝざるは勿論の事ゑ之今日本の商人をして營業の實義を養はしむるは一法は今後益々諸外國との貿易を擴張し日本は商賣をして活潑ならしむるに在るのミ差し此の如くなるときは漸次に四海同商（ヒッチス コスモポリタニズム）の境界に達するとも得べきなり抑も此四海同商なる商賣上の美德は一朝一夕ゑ成る可らず永年月の間外國貿易上の觀察と經驗とゑ由りて自然ゑ生ずるものにしてゑれ美德一たび發生する時は人々同國人又は同人種のミを最負するの偏倚心を脫し、內外の區別なく人に對して實義を盡さゝる可ゑざる事と知り、人を欺くは結局己れの不利に歸するを以て所謂實義は最上の分りたることと合點し、外國人と欺くは內國人を欺くの初めゑして終には世界の欺騙者とあるの理を解するゑ至るべし蓋ゑ人を欺くとは苟しくも德義心と存するものゝ爲せを恥づべき事あるのみならず全く私慾の情より出づるも結局自身の不利ゑ歸するものなり何とあれば商人にして人を欺くときは世ゑ信用（クレディット）なくして立所にその得意を失ふべゑ而して商賣上に於て信用といへる辭は單ゑ德義の意味のミゑあらずして得意を增し又は之を造るの意味と含み得意の多きは商資活潑の兆にて商賣は活潑なる即ち商賣繁昌の兆なればあり其他不正の商品を造り又は些細なる事故に於て外國人を欺く等の事は何れも商賣の融通と妨ぐるものにゑて詰り各自の損失に歸するが故に商人たる者は獨り德義上よりのミならず自家の繁榮を謀るに一點よりも實義と守ること最も大切なりと知る可し竊に案するに今日米國は商人社會は既ゑ商業上の美德たる四海同商の境界に達しゑりや否やの疑問に至ては我輩容易に之ゑ答ふる能はざるゑ雖も然れども米國は日本よりも此境界ゑ近付たりとは一事は之を明言せるも敢て誤なきを信ずるあり一身の實義は厚薄に至ては日米兩國人は間に差したる相違ゑ兆事なれども前者は後者ゑ及ばざる所は唯前者ゑ於て營業の實義欠乏するの一點に在るのみなり左きば日本の商人等も今より心事を一轉し營業は自から營業にして私交は自ら私交ゑるとを記憶ゑ時としては世辭追從の必要ゑある場合もあらんと雖ども猶ほ遠く世辭たら〳〵の追從敬白に換ふるに簡單ゑるGood morningの一言を以てし店頭に客人に茶を進むるが如き餘長ゑる舉動をば斷然之を廢止せよと勸告せざるを得ざるなり然りと雖も我輩は敢て君等を非難するものにあらず君等が一身は十分に四海同商の境界に達するの能力を有する尙ほの上に我日本の位置を尊れば東に米國、西に支那、無靈藏の富源を有せる兩大國の間に挾まれるを以て我國人がゑの美德をさへ發ふゑ於ては自國の地位は則ち既に最上と占めたるものゑり、我同胞の商人等は須らく精勵して商業世界の四海一家に歸するゑとを勉むべし、我輩は日本人としてこの美事を甚だ遠からざる未來に目擊せんとを願む者ゑり殊ゑ此四海同商の主義こそ世界の眞相を知りて報國心中能く萬國同仁の義を維持するの大本ゑる可ければ我輩はます〳〵敬慕に堪へざるゑり我輩は西洋は學理に基づき萬國通商の視察と經驗とゑ由つて發ひ得たる此大本を名づけて商人の品位と稱せんと欲せる者なり

○昨日の祝祭六行目に「他の一方に百日の外銅を吊して」は「他の一方百目の所に分銅を吊して」の誤なり

雜報

○伊國公使館は增置　伊太利國外務大臣は此程外務省官制改正は草案を同國議院に提出したりゑが該案ゑ由るは領事館を置かざる地の公使館にては領事の事務を加の後同國外交官の數ゑ全權大使六名、一等公使六名、二等公使十三名、公使館書記官三十九名、同書記官補四名とあるといふ

○伯林府警察官の數　獨逸國伯林府廳にては今一千八百八十七年度の府廳定額費の內を以て警部二十名刑事警部四名巡査二百名刑事巡査二十九名都合二百五十三名の警察官を增員せんとするの計畫ある由あるが此增員を爲したる後伯林府の警察官の員數は左の如し

	徒歩	騎馬	合計
警部	三〇六人	一八人	三二四人
巡査	三〇一八人	二二〇人	三二三八人

○高知通信　（二月十七日發）縣會　目下開場中の通常縣會は來る二十一日に閉場を引續き臨時縣會を開く由あり○學校　此度は通常縣會に於て本縣醫學校は本年度より之を廢するとに議決せたり亦た高知共立學校は此度其校則を變更して純粹ある英語學校となす由○高等女學校　縣官んとて昨今其計畫三月上旬上京する大鳥井本縣警紙會社　此程縣紙會社を設置せ○宗教　當地の三百餘名もあるへず其初め高知もあり之が昨今少の別なくアは地下にて定欠辰稱當地に於ての來りて儀太夫は素人中ゑも勝太夫大稱付と編備ひ去八日より淨瑠璃の大會を出ゑ各自得意の出に充滿ゑ實に縣會　當地は從來四段より初段迄四五名初段へ先、十三の兩日當客の大會を開き合等もありて近縣の名產あるが太郎なる者の搜ノ瀨ある海底に一寸橫二尺五寸宮內省へ該珊瑚百八十圓の代價於て右代價と本滿宮の梅林は昨ラホラ咲初めた五日迄に其節へ八百三十九人なに歸したれども縣監獄署內の罪千百二十人、未決の總數は千四百○朝鮮遊覽日誌れより山頂を指叠の中に望む古里間は人に出逢橋野に至れり鶴餘はみな山岳たを橫切り凡そ五里にして大海に至りでなは潮汐ありく山岳ゐれとも高れ地少あからず沙に及んで兩派ゑき一は支流にゑあ一山峨々として小舟を備ふてゑ極め特に中流に至色ありしに幸ひこゝに上陸せりゑるのミ蘆れよりて蘆蕪にして人家稱を爲り時に雪血くに凡そ十五里て七八戶ありこゝに十二日なをば塲て山間は僻地たに至つて投宿せ余が一昨年京城に赴きしは丁度感慨少あから出逢ひ者ゑりたる者あるは遭ひ者なくされ